



照りつける日差しの下、羽を休めるハッチョウトンボのオス＝西宮市内

湿原に“夏の使者” 西宮

湿原に夏を告げる日本最小のトンボ、ハッチョウトンボが、西宮市郊外の山中で盛んに飛び交っている。

体長はおよそ2センチで、一円玉にすっぽり収まる。オスは体全体が真っ赤、メスは腹部に黄色と黒のしま模様がある。

生息地は日当たりの良い湿地。草や木が繁茂すればすぐになくなってしまいう不安定な環境だ。昨年改訂された県版レッドリストでは、絶滅の危機が増大しているとして、CランクからBランクに格上げされている。

縄張りをめぐって、オス同士が羽をぶつけ合う羽音が、静かな山中にかすかに響く。姿が見られるのは8月中旬ごろまで。

(山崎 竜)

ハ
ッ
チ
ョ
ウ
ト
ン
ボ
華
麗
に

学びポイント！
◎「ハッチョウトンボ」という名の由来は？
◎一円玉の直径は何センチ？はかってみましょう。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①ハッチョウトンボのとくちょうについて、次の()内を埋めましょう。

- ・ハッチョウトンボの体長はおよそ()センチで日本で一番()。
- ・オスの体の色は()で、メスは腹部に()がある。
- ・生息地は()だ。

②「湿原に夏を告げる」とありますが、どういうことをしているのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

③この記事について、感想を書きましょう。

学校名() 年

名 前()